



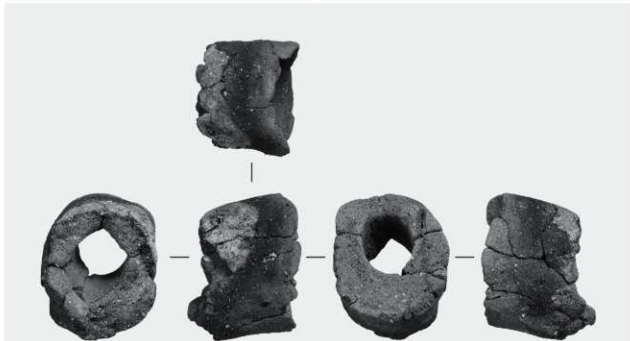
第4 a層

2



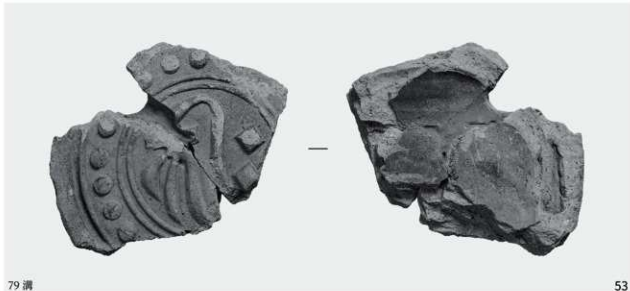
第5 a層

7



第6 a層

17



79溝

53





第 10a 層

110



第 10a 層

116



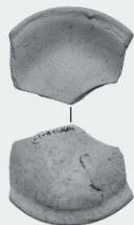
第 10a 層

111



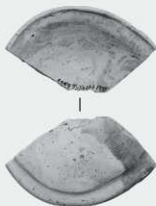
第 11a 層

131



第 11 - 1a 層

120



第 11a ~ 13a 層

126



第 11a ~ 12a 層

124



303 溝

147



第 11a 層

130



第 11 - 2 b 層

150



第 11 - 2 b 層

151



第 12 a 層

149 第 12 a 層

153



第 12 a 層

154

第 12 a 層

155

第 6 a ~ 12 a 層

157



第 12 a 層

162

第 12 a 層

163

第 12 a 層

164



第 12a 層

167



第 12a 層

170



第 11a ~ 12a 層

196



第 13 - 1 a 層上面
溝群上層

203



第 13 - 1 a 層上面
溝群最上層



201



第 13 - 1 a 层上面
沟群上层

209



第 13 - 1 a 层上面
沟群最上层

199



209 446 溝



211



3号墓 1011 周溝

220



3号墓 1011 周溝

219



4号墓 1012 周溝

226



219



2 号墓 422 周溝

216



242 1040 溝

231



第 12a 層

第 13 - 1a 層上面
溝群上層

266



第 13 - 1a 層上面
溝群

269



第 13 - 1a 層上面
447 溝

260



第 13a 層

267



2 号墓
422 周溝

264



第 13 - 1a 層

256



第 13 - 1a 層上面
溝群上層

255



第 13a 層

254



2 号墓
422 周溝

251



第 13 - 1a 層上面
溝群

250

報告書抄録

ふりがな	おおがたぐんじょうりいせき						
書名	大泉都条里遺跡9						
副書名	寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書						
シリーズ名	公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書						
シリーズ番号	第 325 集						
編著者名	信田真美世						
編集機関	公益財団法人 大阪府文化財センター						
所在地	〒 590 - 0105 大阪府堺市南区竹城台 3丁 21 番 4号 TEL072 - 299 - 8791						
発行年月日	2023年8月31日						
所収遺跡名	所在地	コード		緯度・経度	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号				
大泉都条里遺跡	大阪府柏原市 法善寺四丁目 地内	27221	69	北緯 34° 35' 54" 東経 135° 37' 42"	2021.09.01 ～ 2022.10.31	4,765 m ²	恩智川法善寺 多目的遊水地
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
大泉都条里遺跡	生産	古代～中世	畦畔・溝・土坑	土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土器・陶器・磁器・瓦・石製品・金属製品・金属製品生産関係遺物・木製品	古代から中世にかけての条里型地割で区画された水田・畠を検出		
	集落	縄紋時代晩期～古墳時代	方形周溝墓（墳丘墓） 溝・土坑・ピット	縄紋土器・弥生土器・土師器・須恵器・石器・石製品・木製品	弥生時代中期後葉及び弥生時代後期後葉の方形周溝墓（墳丘墓）を検出		
要約	<p>方形周溝墓（墳丘墓）3基を検出した。2号墓は、（その8）調査区で大部分が調査されており、弥生時代中期後葉の時期が与えられている。今回の調査では南周溝を検出し、周溝内肩部で、舟形の木棺が割えられた埋葬施設を確認した。3・4号墓は、（その8）調査区の1号墓の南側に、3号、4号の順で南北に並ぶ。3号墓の周溝内墳丘側肩部で、弥生土器広口壺・鉢等が出土しており、弥生時代後期後葉の時期が与えられる。広口壺のうち1点には、体部に波状紋の縞帯がみられる。</p> <p>第13・14a層上面では、北西・南東方向の溝群を検出した。弥生時代後期には機能していたと考えられる。既往の調査区も含め、検出長約190mに及ぶ長大な溝群であり、広範囲に及ぶ地域の開発に関わるものと考えられる。</p> <p>第4a層上面から第12a層上面まで、条里型地割を構成する畦畔、溝等を検出した。大泉都条里遺跡における最も古い条里遺構は、これまで第11a層段階のものであったが、今回の調査では、さらに下位の層序である第12a層段階（古代）の条里遺構を確認した。限られた範囲ではあるが、遺構面が第11b層堆積層に被覆されており、畦畔等の遺構群を非常に良好な状態で検出することができた。</p> <p>第7a層上面79溝東部遺構群（13世紀後葉）については、各地で報告されている道路状遺構に伴う「波板状凹凸面」の一例と考えられる。</p>						

公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書 第 325 集

大 県 郡 条 里 遺 跡 9

寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

発行年月日 / 2023 年 8 月 31 日

編集・発行 / 公益財団法人 大阪府文化財センター
大阪府堺市南区竹城台 3 丁 21 番 4 号

印刷・製本 / 株式会社 明新社
奈良市南京終町 3 丁目 464 番地